



SSH 通信



広島大学附属高等学校

SSH 通信作成委員

2025 年度 第 2 号

2025 年 9 月 11 日発行

皆さんこんにちは。2025 年度の SSH 通信作成委員です。この SSH 通信では、本校の SSH プログラムの 1 年間の活動をお伝えしていきます。第 2 号では、1 学期に実施された「先行研究発表会」と「放射光施設見学研修」についてお知らせします。

<先行研究発表会：高ⅡAS コース 5月7日（水）>

【概要】

先行研究発表会は、高ⅡAS コースそれぞれのグループが準備してきたスライドを発表し、質疑応答を行うという内容でした。各グループは自分たちが取り組もうとしている研究の構想やそれに対する先行研究について発表しました。また他のグループの発表を聞くことで自分たちの研究のクオリティをより高める助けにもなりました。質疑応答の場面では、他グループの生徒や本校指導教員の先生方、広島大学名誉教授の前原俊信先生や林武広先生など、様々な視点の人からの意見を聞くことができ、自分たちの研究に今足りていないことや、その課題に対する改善などについて考えるきっかけとなりました。



【学び】

- ・先行研究発表会では、各チームが初めて互いの研究概要を発表し合い、他グループの発表に触れることで新たな気づきや学びが多くありました。また、質疑応答や先生方からのご助言を通して、自分たちの研究への理解を深めることができ、これから研究を進めていくにあたって非常に有意義な時間を過ごすことができました。
- ・先行研究発表会を通して、先行研究の重要性を再確認するとともに、他グループの研究目的や手法について知ることができました。先生方からは挑戦することの大切さを教えていただき、私たちの研究を後押ししていただけたので、発表会で得られた様々な知見をこれからの研究活動に活かしていきたいです。

<放射光施設見学研修：高ⅡAS コース 6月21日（土）>

【概要】



高ⅡAS コース生は広島大学東広島キャンパスにある放射光科学研究所を見学しました。施設に到着後、生天目博文先生のお話を聞き、加速器や計測器が備えられた研究施設を見学しました。昼食後はグループで波形や光の性質に関する実験を行い、最後に実験内容をスライドにまとめて発表会を実施しました。実験を通して、身近な現象への理解をより深めることができました。

【学び】

- ・自分の目には見えないけど大きな磁石が電子を加速させて放射光を作ること、普通の実験室ではできないような観察や実験が行えるようになり、研究の幅が広がることに面白さを感じました。それぞれの量（～Hz、～m/s など）が何を表していて、それが実験においてどのような意味を持つのかを意識して、これからも研究を進めたいです。
- ・施設の名称から、勝手に戦争・被爆関係の研究を行っているのかと思っていましたが、実際は放射光の有効活用の道を研究されており、驚くことばかりでした。実験は失敗するものだという先生の言葉と今回の学習から、予想通りいかないことに悩むのではなく、どうすれば予想通りにいくのかについて考え悩むべきだと考えました。機器が上手く利用できないなどのアクシデントがありましたが、グループのメンバーと話し合っ解決策を考えられたことが、課題研究にも生かせることだと思います。



第3号では、「第5回バーチャル課題研究発表会（高ⅡAS コース）」や「イノベティブサイエンス講義（高Ⅰ）」について紹介する予定です。